株主のみなさまへ

2017年12月期 中間報告書

(2017年1月1日～2017年6月30日)

P1 株主のみなさまへ
P3 特集ーコカ·コーラ ボトラーズジャパン始動!
P5 役員紹介
P6 営業活動の状況
P9 連結決算ハイライト
P10 連結財務諸表
P11 地域社会貢献活動
P12 会社概要
P13 株式の状況
P14 株主メモ
P15 株式に関するお知らせ
P16 株主優待サービスについて
P17 株主優待サービスの内容

証券コード：2579

コカ·コーラ ボトラーズジャパン株式会社

国内最大の コカ・コーラボトラーとして みなさまの信頼に応え、飛躍してまいります。

株主のみなさまには、平素より
当社への厚いご支援を賜り心より御礼申しあげます。
2017年4月の経営統合により発足した当社の目指す姿と
今後の展望等についてご説明させていただきます。

代表取締役社長
吉松民雄

Q 今回の経営統合で目指す方向性について聞かせてください。

日本にはかつて17のコカ・コーラボトラーが存在し、それぞれのボトラーが各販売エリアで地域に密着した事業活動を行ってきました。この度、東西でコカ・コーラボトラーの経営統合を推進してきたコカ・コーラウエストとコカ・コーライーストジャパンの経営統合により新たに発足した私たちコカ・コーラ ボトラーズジャパン(CCBJI)は、当時の12のボトラーから成り、1都2府35県を販売エリアとしています。また、販売数量ではコカ・コーラシステムによる国内販売数量の約9割を担い、売上高では世界第3位のコカ・コーラボトラーとなります。

私たちは、これまでの歩みの中で主要なカテゴリーに多くの製品を送り出し、「総合飲料企業」として市場をリードしてきました。今後は、さらなる成長・発展を実現すべく、「人々の一生と日々の生活に寄り添う飲料(Beverages for Life)」をテーマに、幅広い年齢層と多様な飲料機会に対応した豊かな飲料ポートフォリオを提供してまいります。

Q 中期事業計画が描く展望とはどのようなものですか。

この度、2020年までの中期事業計画「Growth Roadmap for 2020 & Beyond」を策定しました。売上高成長を目指すとともに、2020年までに250億円の経営統合シナジーを創出すべく取り組んでまいります。

売上高成長の実現に向けては、以下の3つを重点戦略として推進していく方針です。

1つ目は、顧客起点で地域に根差した販売拡大と収益性向上の取り組みです。お客さまが求める価値や購入機会に応じた製品(ブランド・容量・パッケージ)の提供を強化しつつ、当社が競争優位性を持つカテゴリーでは、収益性の高い高付加価値製品の展開に注力いたします。

2つ目は、ベンディング事業の利益を伴った成長に向けた変革です。国内最多の自動販売機を有する強みを活かし、お客さまに最も便利な販売チャネルとしてのお役立ち自動販売機を実現すべく、変革を進めてまいります。

3つ目は、収益性の高い魅力ある新製品を拡充し、維持するためのイノベーションです。お客さま、お得意さまから評価いただける高付加価値製品を積極的に導入することに加え、海外のコカ・コーラボトラーの成功事例を取り入れるなど、日本コカ・コーラ社と一体となって新たなイノベーションの機会を捉え、活動してまいります。

さらに、中期事業計画を通じて、2020年に6%以上のROE(自己資本利益率)を実現すべく、バランスシートの最適化を図り、株主還元の最大化を目指してまいります。

Q 2017年の業績の見通しと足元の状況について教えてください。

中期事業計画の初年度である2017年の連結業績につきましては、売上高9,065億円、営業利益401億円、経常利益381億円、親会社株主に帰属する当期純利益215億円を見込んでいます。

事業別では、清涼飲料事業で売上高8,724億円・営業利益365億円、ヘルスケア・スキンケア事業で売上高341億円・営業利益36億円を計画しています。

当第2四半期(2017年1月1日から2017年6月30日まで)の連結業績につきましては、経営統合による影響に加え、清涼飲料事業での営業およびSCM(サプライチェーンマネジメント)における取り組みが順調に進捗した結果、売上高は3,578億3千7百万円(前年同期比63.2%増)、営業利益は170億9千8百万円(同比92.5%増)、経常利益は167億9千5百万円(同比94.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は96億9千2百万円(同比109.2%増)となりました。

また、株主還元といたしましては、2017年は、統合前2社における2016年の1株当たり年間配当金(記念配当を除く)から減額とならない水準を前提とし、1株当たり年間配当金44円(中間22円・期末22円)を予定しております。

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

当社は、中期事業計画を通じて、持続的な成長を果たすとともに、企業価値の向上をもって株主のみなさまのご期待に応えてまいります。同時に、国内最大のコカ・コーラボトラーとしてお客さま、お得意さまから信頼され、地域社会とともに成長する企業を目指してまいります。

今後もより高いステージへの飛躍に向けて、たゆまぬ成長と変革の努力を継続し、名実ともに世界最高水準のコカ・コーラボトラーへと進化したいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申しあげます。

特集

コカ・コーラ ボトラーズジャパン 始動！

2017年4月1日、近畿・中国・四国・九州地方を販売エリアとする
コカ・コーラウエスト（CCW）と、首都圏および南東北・東海地方を販売エリアとする
コカ・コーライーストジャパン（CCEJ）が経営統合し、
コカ・コーラ ボトラーズジャパン（CCBJI）が誕生しました。

CCBJIとは…

- ☑売上高**世界第3位**のコカ・コーラボトラー
- ☑**50超のブランドと600超のSKU※からなる製品**を提供する「総合飲料企業」
- ☑国内コカ・コーラシステムの**約9割の販売数量**を担う

統合後の販売エリア

CCBJIのキーナンバー

- 販売エリア **1都2府35県**
- お客さまの数（販売エリア人口） **5,000万世帯 1億12百万人**
- 年間売上高 **約1兆円**（2016年 両社売上高単純合算）
- 年間販売数量 **5億ケース以上**（2016年 両社実績単純合算）
- 従業員数 **約25,000人**（臨時社員含む）
- 自動販売機台数 **74万台**（2016年末時点）
- 取り扱い店舗数 **32万軒**（2016年末時点）
- 営業・物流拠点数 **351ヵ所**（2017年1月時点）
- 製造拠点 **17工場**（2016年末時点）

※最小在庫管理単位（Stock Keeping Unit）の略。

中期事業計画

Growth Roadmap for 2020 & Beyond

■ CCBJI発足の核心

実績あるリーダーシップチームによる成長へのコミット	顧客起点と地域密着	株主価値の向上

■ 主要指標・目指す姿

主要指標	目指す姿
売上高成長	**売上高年平均成長率 +1.8%(2016年～2020年)** 収益を伴う売上高成長、収益力の高い製品展開
金額シェア	**販売数量シェア以上の金額シェア拡大** 金額シェアが販売数量シェアを上回って拡大
トランザクション	**即時消費パッケージ成長** 小容量、即時消費パッケージの成長
EBITDA※マージン	**EBITDAマージン 10%以上** 事業活動を通じた堅調なキャッシュ創出
自己資本利益率(ROE)	**ROE 6%以上** バランスシートの最適化によるリターン(株主還元)の最大化

※利払い前・税引き前・減価償却前利益(Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)のこと。

役員紹介 (2017年7月1日現在)

取締役

- 監査等委員会設置会社
- グローバルな視点を持ち、多様かつ経験豊富な取締役

吉松 民雄
代表取締役社長

ヴィカス・ティク
代表取締役副社長
最高財務責任者(CFO)
兼ゼネラルマネジャー
トランスフォーメーション

古賀 靖教
取締役上席執行役員
総務本部長

コスティン・マンドレア
取締役上席執行役員
営業本部長

吉岡 浩
社外取締役
独立役員

田口 忠憲
取締役(監査等委員)
(常勤)

三浦 善司
社外取締役(監査等委員)
独立役員

イリアル・フィナン
社外取締役(監査等委員)
THE COCA-COLA COMPANY 上級副社長
(ボトリング投資グループ社長)

ジョン・マーフィー
社外取締役(監査等委員)
THE COCA-COLA COMPANY
COCA-COLA ASIA PACIFIC GROUP 社長

執行役員

那須 俊一
上席執行役員
IMO(インテグレーションマネジメントオフィス)本部長

ジャワハル・ソライクップスワミー
上席執行役員
財務本部長

ブルース・ハーバート
上席執行役員
SCM本部長

髙木 恭一
執行役員
経営企画統括部長

岡本 繁樹
執行役員
コーポレートコミュニケーション統括部長

尾関 春子
執行役員
法務統括部長

岡田 豊二
執行役員
人事統括部長

青山 朝子
執行役員
トランスフォーメーションプロジェクト責任者

レイモンド・シェルトン
執行役員
IR統括部長

荷堂 真紀
執行役員
調達統括部長

エドワード・ウォルターズ
執行役員
ロジスティック統括部長

西口 洋一
執行役員
製造統括部長

村田 吉章
執行役員
キーアカウントマネジメント統括部長

清涼飲料事業

各販売チャネルにおいて、お客さま、お得意さまに応じたきめ細かいマーケティング戦略を実行することで、売上げ拡大に努めました。

チェーンストア　スーパーマーケット／コンビニエンスストア 等

スーパーマーケットでは、コカ･コーラ プラスなどの特定保健用食品や機能性表示食品を積極的に展開するとともに、業態やお得意さまの状況に応じ、適切な製品(ブランド・容量・パッケージ)を最適な卸売価格で販売するなど、きめ細かい営業活動を行うことで、利益を伴う売上高の増加に取り組みました。一方、コンビニエンスストアでは、新製品の投入やお得意さまとの共同プロモーションの展開等により、売上げ増加を図りました。

スーパーマーケットでの売場づくり

ベンディング　自動販売機

自動販売機1台当たりの売上げ増加を目指し、ロケーションに応じた最適な品揃えを徹底するとともに、高付加価値製品や自動販売機専用製品の展開を強化しました。また、スマートフォンアプリ「Coke ON」対応自動販売機の台数増加にも取り組みました。新規設置における優良ロケーションの獲得に向けては、ポテンシャルの高い屋内ロケーションへの積極展開を行うなど、収益性を見極めた活動に注力しました。

スマートフォンアプリ「Coke ON」

リテール･フードサービス　飲食店／売店 等

飲食店では、当社製品を使用したドリンクメニューを提案するなど、当社製品の取り扱い拡大を図りました。特に、ノンアルコールカクテルを「モクテル」として展開し、新たな需要の獲得に努めました。また、売店等では、レギュラーコーヒー機器や卓上クーラーなどの販売機器を活用することで、取引店舗の増加に努めました。さらに、インターネット通販に対するお客さまのニーズの高まりを受け、インターネット通販店への営業活動にも注力しました。

当社製品を使用した
ドリンクメニュー

営業活動の状況

当第2四半期は、特定保健用食品(トクホ)や機能性表示食品等の高付加価値製品や、地域限定製品の展開に注力しました。

新製品紹介

コカ・コーラ プラス 特定保健用食品※

3月27日発売

食事から摂取した脂肪の吸収を抑え、食後の血中中性脂肪の上昇をおだやかにする難消化性デキストリン(食物繊維)を配合した特定保健用食品(トクホ)で、世界No.1の飲料ブランド「コカ・コーラ」ならではのおいしさはそのままに、トクホの機能をプラスした新製品です。健康意識が高く、おいしさへのこだわりが強い日本のお客さまにご満足いただけるようコカ・コーラ社が総力を挙げて開発。期間限定製品以外で日本市場をターゲットにした初の「コカ・コーラ」新製品として、注目を集めています。

からだ巡茶 Advance 機能性表示食品※

1月30日発売

からだの巡りに着目した7種の東洋素材に、ローズヒップエキスを加えて仕上げた、すっきり飲みやすい機能性表示食品です。美容と健康を維持したい方におすすめです。

爽健美茶 健康素材の麦茶 機能性表示食品※

4月24日発売

おなじみの「爽健美茶」に機能性表示食品が登場しました。体についた脂肪を減らす機能が報告されているローズヒップ由来ティリロサイドが含まれています。

「コカ・コーラ」スリムボトル 地域デザイン

観光名所をイラストで描き、スタイリッシュで特別なパッケージにデザインした「コカ・コーラ」スリムボトル 地域デザインを発売しました。
地元の方にはその地域の魅力をあらためて感じていただき、旅行中の方にはいつもとは違う旅の“特別なひととき”をお届けします。

年内5エリアで展開予定!

※これらの製品に関する届出表示等の詳細は、https://www.ccbji.co.jp/product/をご覧ください。

ヘルスケア・スキンケア事業

新製品の投入や広告宣伝を通じてお客さまの獲得を目指すとともに、
CRM(カスタマー リレーションシップ マネジメント)を強化し、継続購買促進と購入点数増加を図りました。

新製品紹介

小林HMBタブレット 機能性表示食品※

4月1日
発売

筋肉量や筋力の低下を抑え、日常生活に必要な筋肉量や筋力の維持に役立つサプリメント(機能性表示食品)です。飲みやすく続けやすいタブレット(粒)タイプで、1日摂取目安量は6粒です。機能性関与成分「3-ヒドロキシ-3-メチルブチレート(HMB)」は、筋肉形成に重要なアミノ酸「ロイシン」の摂取時に体内で作られる成分で、筋肉量や筋力の低下を抑制する働きが報告されています。

※当製品に関する届出表示等の詳細は、
http://corporate.kyusai.co.jp/company/r-and-d/research/kinousei/をご覧ください。

コラリッチEXスーパーモイストⅡ

1月10日
発売

コラーゲンをたっぷり配合したスーパーオールインワン美容ジェルクリーム「コラリッチEXスーパーモイスト」がリニューアルしました。従来の5つの役割(化粧水、乳液、美容液、美容オイル、クリーム)に、マッサージジェルと美容成分をとじこめるパックの役割を追加しました。高機能な美容成分も追加しており、うるおいを角質層の深くまで届け、手応えのあるハリ肌へ導きます。

TOPICS 「Kale de Kale(ケール・ド・ケール)」

「スーパーフード」として注目されているケールは、食物繊維をはじめ、ポリフェノールやビタミン、β-カロテン、カルシウムや葉酸など、美容にうれしい栄養素が豊富です。なかでも最も寒い時期に育つケールは、イチゴと同じくらい甘くなります。キューサイはこの春、冬を越して甘くなったケールだけを使用した「Kale de Kale(ケール・ド・ケール)」を期間限定で販売しました。
また、ケールの魅力をより多くの方に体感いただくため、「Q'SAI Kale Cafe(キューサイ ケール カフェ) 表参道」を期間限定でオープンしました。
「Kale de Kale」を使ったドリンクの無料提供や、SNSと連動したプレゼントキャンペーンを行い、多くのお客さまからご好評をいただきました。

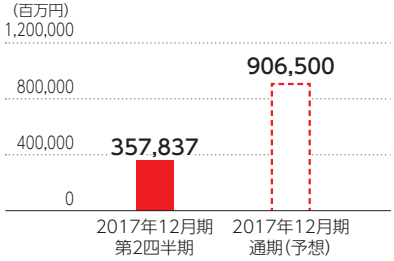
4月17日
発売

Q'SAI Kale Cafe
表参道

連結決算ハイライト

売上高

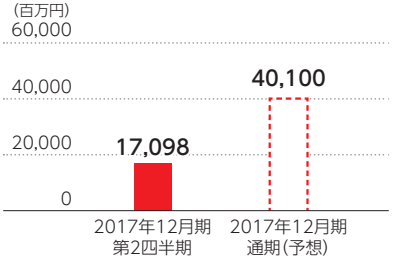
357,837百万円



主に経営統合の影響により、売上高は3,578億3千7百万円となりました。

営業利益

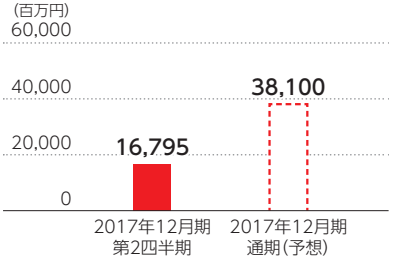
17,098百万円



経営統合の影響に加え、清涼飲料事業においてSCM(サプライチェーンマネジメント)での生産性向上の取り組みが順調に進捗したことなどから、営業利益は170億9千8百万円となりました。

経常利益

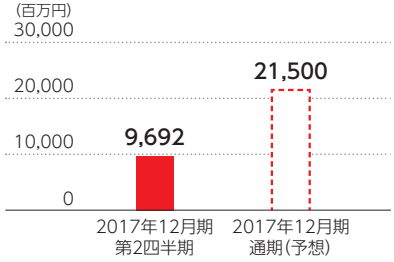
16,795百万円



主に営業利益の増加により、経常利益は167億9千5百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

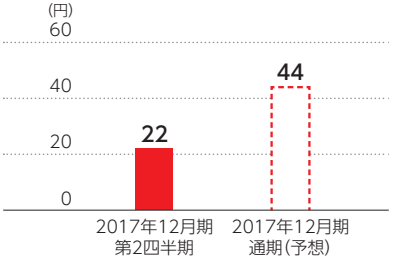
9,692百万円



主に経常利益の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は96億9千2百万円となりました。

1株当たり配当金

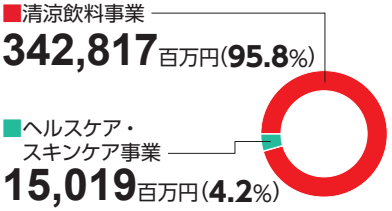
22円



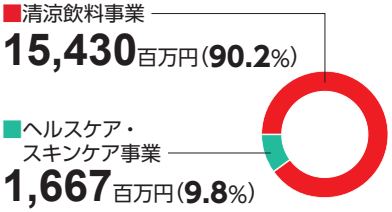
2017年は、中間配当金を1株当たり22円、期末配当金(予想)を1株当たり22円としており、年間配当金(予想)は、1株当たり44円となります。

セグメント情報

<売上高>



<営業利益>



連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前期末 2016年12月31日現在	当第2四半期末 2017年6月30日現在
資産の部		
流動資産	163,587	295,822
固定資産	213,881	596,114
有形固定資産	157,815	404,412
無形固定資産	27,557	146,655
投資その他の資産	28,508	45,046
資産合計	377,468	891,936
負債の部		
流動負債	55,739	144,211
固定負債	60,556	135,491
負債合計	116,295	279,702
純資産の部		
株主資本	257,114	605,691
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	450,638
利益剰余金	137,404	144,477
自己株式	△4,593	△4,657
その他の包括利益累計額	3,643	5,556
その他有価証券評価差額金	4,092	5,334
繰延ヘッジ損益	77	54
為替換算調整勘定	△3	19
退職給付に係る調整累計額	△522	149
非支配株主持分	414	986
純資産合計	261,173	612,234
負債純資産合計	377,468	891,936

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで	当第2四半期 2017年1月1日から 2017年6月30日まで
売上高	219,306	357,837
売上原価	105,821	172,659
売上総利益	113,485	185,177
販売費及び一般管理費	104,602	168,079
営業利益	8,883	17,098
営業外収益	514	744
営業外費用	766	1,046
経常利益	8,630	16,795
特別利益	–	273
特別損失	754	711
税金等調整前四半期純利益	7,876	16,357
法人税等	3,210	6,679
四半期純利益	4,665	9,677
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,633	9,692

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで	当第2四半期 2017年1月1日から 2017年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,506	8,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,807	△16,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,737	△5,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	22
現金及び現金同等物の増減額	△8,989	△13,743
現金及び現金同等物の期首残高	79,828	86,727
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	–	26,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,839	99,782

うるおいの森づくりin蔵王

コカ･コーラシステムでは、製品および製造で使用した量と同等量の水を自然に還元する「ウォーター・ニュートラリティー」を重要指標と見なし、持続可能な水源を育むための活動を行っています。
2017年6月には、小学生とその家族を対象とした環境体験学習“コカ･コーラ「森に学ぼう」プロジェクトうるおいの森づくりin蔵王”を宮城県刈田郡蔵王町で開催しました。会場の土浮山では、約80名が1,000本の植樹体験とネイチャープログラム(木工制作および自然観察教室)を通じて森に親しみました。

うるおいの森づくりin蔵王

ふれあいラグビー教室in福岡

ふれあいラグビー教室in福岡

当社は、地域社会とともに歩んでいく企業として、誰もが活動的で健康的に過ごせる社会づくりに貢献すべく、次世代を担う子どもたちのスポーツ活動や各地の市民マラソン大会のサポートなどを行っています。
当第2四半期は、ジャパンラグビートップリーグ所属の「コカ･コーラレッドスパークス」による「ふれあいラグビー教室in福岡」の開催など、地域に密着したスポーツ振興活動を実施しました。

吉野川アドプト清掃活動

当社は、地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の発展に貢献すべく、環境保全活動を推進しています。
当第2四半期は、徳島県において、県民の間に定着してきている「アドプト・プログラム※吉野川」に参加するなど、地域と一体となった環境美化に取り組みました。

※アドプト・プログラムとは、地元企業や住民のみなさんが、地元の道路や川の土手のような公共物を自分たちの養子とみなし、定期的に空缶拾いなどの清掃活動を行う、アメリカ生まれのボランティア制度です。

吉野川アドプト清掃活動

コカ･コーラ ボトラーズジャパングループの取り組みについてホームページでご覧いただけます。

CCW
「CSRレポート」

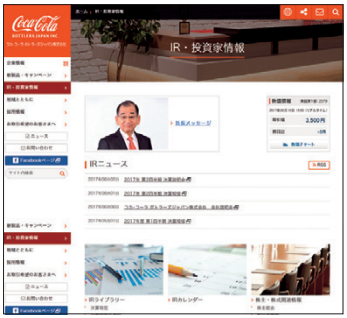
CCEJ
「サステナビリティーレポート」

会社概要（2017年6月30日現在）

商　　号	コカ･コーラ ボトラーズジャパン株式会社 Coca-Cola Bottlers Japan Inc.
本社所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン･タワー
本店所在地	福岡県福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設　　立	1960年12月20日 （2017年4月1日付で、コカ･コーラ ボトラーズジャパン株式会社に商号変更）
資 本 金	152億3千1百万円
連結従業員数	17,200名
上場取引所	株式会社東京証券取引所（市場第一部） 証券会員制法人福岡証券取引所

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主、投資家のみなさまに向けて、財務情報、IRイベントスケジュール、IR資料など、豊富なIR情報を掲載しています。また、ご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。



https://www.ccbji.co.jp/

コカ･コーラ ボトラーズジャパングループ
工場見学

コカ･コーラ社製品が完成するまでの工程をお楽しみいただける工場見学を開催しています。
詳細は、当社ホームページをご覧ください。

京都工場

多摩工場

コカ･コーラ ボトラーズジャパン　工場見学　検索

見学会の開催工場

❶ **蔵王工場**
（宮城県刈田郡蔵王町）
TEL:0224-32-3505

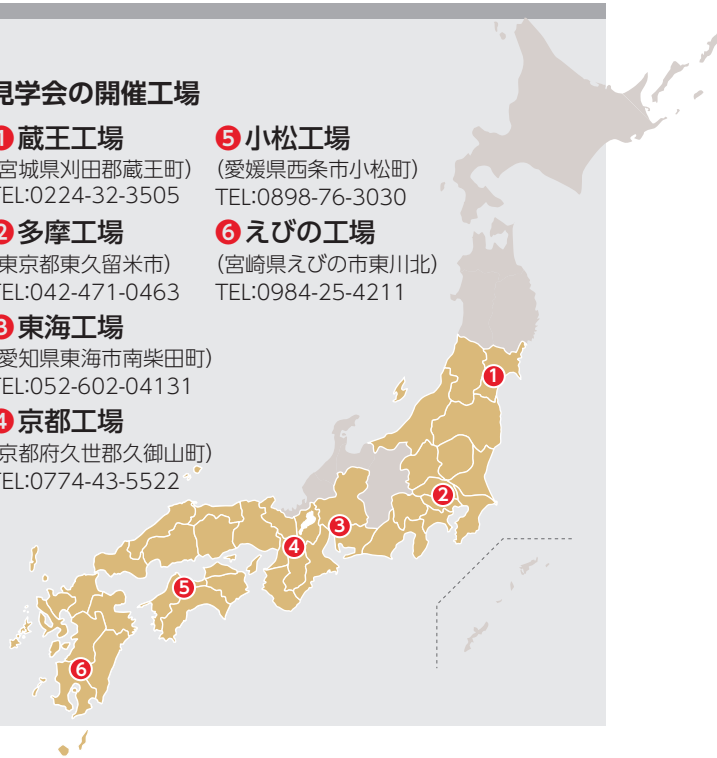
❷ **多摩工場**
（東京都東久留米市）
TEL:042-471-0463

❸ **東海工場**
（愛知県東海市南柴田町）
TEL:052-602-04131

❹ **京都工場**
（京都府久世郡久御山町）
TEL:0774-43-5522

❺ **小松工場**
（愛媛県西条市小松町）
TEL:0898-76-3030

❻ **えびの工場**
（宮崎県えびの市東川北）
TEL:0984-25-4211



株式の状況 (2017年6月30日現在)

発行可能株式総数 500,000千株

発行済株式総数 206,268千株

株主数 59,311名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リコー	17,075	8.4
EUROPEAN REFRESHMENTS	15,454	7.6
日本コカ・コーラ株式会社	12,502	6.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,288	3.1
東洋製罐グループホールディングス株式会社	5,604	2.7
公益財団法人新技術開発財団	5,294	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,261	2.6
薩摩酒造株式会社	4,699	2.3
株式会社千秋社	4,088	2.0
コカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	2.0

(注)当社保有の自己株式2,006千株につきましては、上記の表および持株比率の計算より除いております。

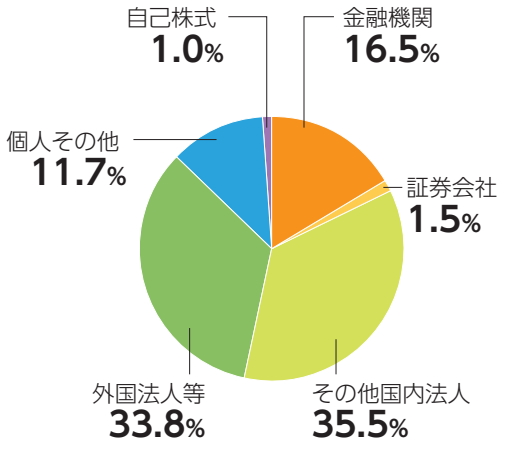
ザ コカ・コーラカンパニーの持株比率16.35%※

※EUROPEAN REFRESHMENTS、日本コカ・コーラ株式会社およびコカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク等子会社による間接所有を含む。

所有者別株式数の状況

	株主数(名)	所有株式数(千株)
金融機関	80	34,047
証券会社	43	3,175
その他国内法人	919	73,132
外国法人等	511	69,731
個人その他	57,757	24,174
自己株式	1	2,006
合計	59,311	206,268

株式数の構成比



株主メモ（2017年6月30日現在）

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日 ●定時株主総会 ●期末配当金 ●中間配当金	 毎年12月31日 毎年12月31日 毎年６月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031
（ホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ（https://www.ccbji.co.jp/corporate/public_notice/）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

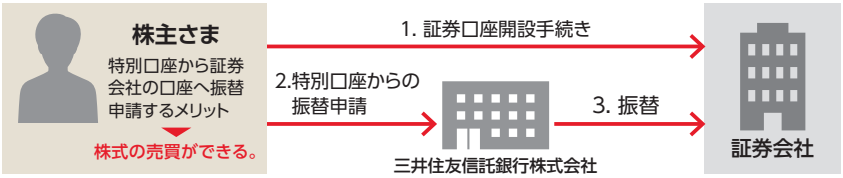
特別口座について

特別口座とは、2009年1月の株券電子化の際に、株券を証券会社に預託されなかった株主さまならびに単元未満登録株式をお持ちの株主さまの権利を保全するために、当社が特別に開設した口座のことをいいます。当社は「三井住友信託銀行株式会社」に特別口座を開設しております。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きについて

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替えるお手続き（振替申請）をお勧めします。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きの流れ



お手続きに関するお問い合わせについて

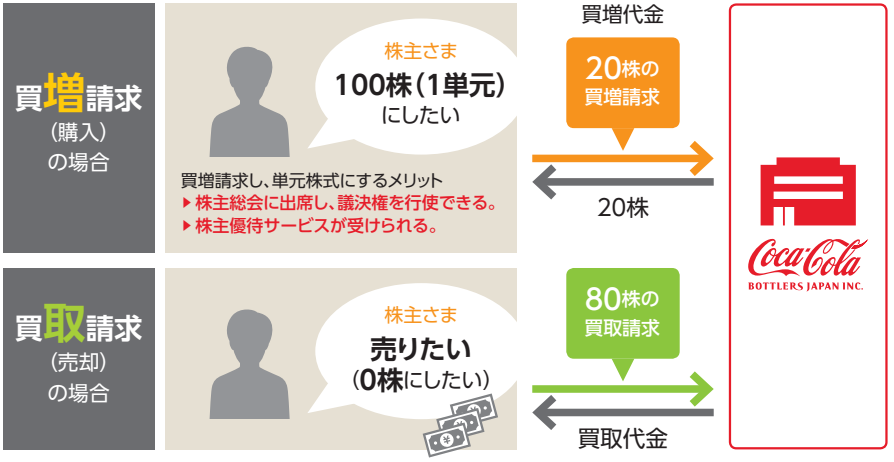
お手続き内容	お問い合わせ先
特別口座から証券口座への振替申請	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 （平日9：00～17：00）

●現在株券をお持ちの株主さまや、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主さまは、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

1. 単元未満株式の買増・買取請求のお手続きについて

当社株式は1単元100株であり、単元未満株式(1～99株)については市場で売買いただくことができません。そのため、株主さまにおかれましては、当社に対して100株(1単元)となるよう**買増請求**(購入)または単元未満株式を**買取請求**(売却)いただけます。お手続きの方法等のお問い合わせは、「2. 株式に関するお手続きについて」のお問い合わせ先にお申し出ください。

例 株主さまが80株を所有している場合



2. 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きについては、以下の表をご参照のうえ、該当の窓口にお問い合わせください。

❶証券会社に口座をお持ちの株主さまと、❷特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)で、お問い合わせ先が異なる場合がありますのでご注意ください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先			
	❶証券会社に口座をお持ちの株主さま		❷特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)	
● 単元未満株式の買増・買取のご請求 ● 届出住所のご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更	株主さまの口座のある証券会社		特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00～17:00)
● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物(配当金関係書類等)の発送に関するご照会 ● 株式に関するその他のお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00～17:00)	株主名簿管理人	

株主優待サービスについて

毎年12月31日現在で当社株式を100株以上保有する株主さまに対し、保有株式数と保有期間に応じて、「株主優待ポイント」を**翌年3月下旬に贈呈**いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、当社ホームページの株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せや社会貢献活動への寄付などお好きな株主優待商品と交換いただくことができます。

1 株主になる

2 株主優待通知書が送られてくる

3 株主優待ポイントを株主優待商品と交換する

●株主優待サイト
●商品カタログ
からお選びください。

4 株主優待商品が届く

株主優待商品例

コカ・コーラ社製品詰合せ

社会貢献活動「市村自然塾 九州※」への寄付

コカ・コーラロゴ入りジャンボタオル

※「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に農作業を中心とした自然体験活動、共同生活を通じて子供たちの健全な育成・成長を支援するために設立された特定非営利活動法人(NPO)

株主優待に関するお問い合わせ先	**コカ・コーラ ボトラーズジャパン株主優待事務局** TEL0120-99-5610　**受付時間**10:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

株主優待サービスの内容

1. 基準日および贈呈時期

●対象となる株主さま

毎年12月31日現在において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、1単元(100株)以上を保有する株主さま

●贈呈時期

翌年3月下旬

2. 株主優待サービスの利用期間

3月下旬～9月末

3. 株主優待ポイント

保有株式数に応じて、**45～180ポイント**を贈呈いたします。

4. 長期保有優遇ポイント

対象となる株主さまの保有株式数に応じて、長期保有優遇ポイントとして**30～120ポイントの追加ポイント**を贈呈いたします。

長期保有優遇制度の対象となる株主さま

3年以上継続して当社株式を
1単元(100株)以上保有する株主さま

1) 毎年12月31日現在において、当社株主名簿に、同一の株主番号で3年以上継続して1単元(100株)以上記載または記録されている株主さま(同一の株主番号で3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に継続して、13回以上記載または記録されている株主さま)
ただし、婚姻および転居に伴う株主名簿の記載内容の変更により、株主番号が変更となった場合に限り、株主さまからの申請により長期保有優遇制度の対象とするものとします。

2) 旧コカ･コーライーストジャパン株式会社の株主さまにつきましては、これまで同社において、6月30日現在および12月31日現在の年2回のみ同社株主名簿の記載または記録の確認を行ってきており、3月31日現在および9月30日現在の株主名簿への記載または記録を確認することはできませんが、2017年3月31日までの期間については、特例として、この年2回の株主名簿において、1単元(100株)以上記載または記録を確認することで長期保有優遇制度の適用の可否について判断させていただくことといたします。ただし、2017年4月以降は、四半期ごとの株主名簿に記載または記録があることを長期保有優遇制度の適用条件といたします。

●株主優待ポイントの概要

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上		
	株主優待ポイント	①株主優待ポイント	②長期保有優遇ポイント	合計①+②
100株以上　500株未満	45ポイント	45ポイント	＋30ポイント	75ポイント
500株以上 1,000株未満	60ポイント	60ポイント	＋45ポイント	105ポイント
1,000株以上 5,000株未満	90ポイント	90ポイント	＋60ポイント	150ポイント
5,000株以上	180ポイント	180ポイント	＋120ポイント	300ポイント

5. 株主優待商品のお申し込みおよびお受け取り時期について

株主優待商品のお申し込みにあたっては、株主さまのご希望にあわせて
お受け取り時期(❶「**通常配送**」および❷「**夏季配送**」)をお選びいただけます。

1 通常配送

「通常配送」を選択し、お申し込みいただくと、受付後、1ヵ月程度でお受け取りいただけます。※

※ ただし、在庫切れ、天変地異その他の事由により、お届けに1ヵ月以上を要する場合があります。

〔例〕

株主優待ポイントを
もらったから、
すぐに申し込もう!

2 夏季配送

**「夏季配送」を選択し、6月末までにお申し込みいただくと、
7月上旬から中旬にお受け取りいただけます。**

〔例〕

夏休みにやってくる
孫に飲ませてあげたい!

この商品、暑い夏に
受け取りたいけど、申し込みだけ
先に済ませてしまいたい!

3

**株主優待ポイントを60ポイント以上お持ちの株主さまは、
2回以上に分けてお受け取りいただけます。**

(お申し込みは、都度必要です。)

〔例〕

株主優待ポイントが
たくさんあるので、必要なときに、
分けて受け取りたい!

さらに便利!

「通常配送」と
「夏季配送」を組み合わせると、
一度のお申し込みで、
お受け取り時期を分けることが
可能です。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
〒107-6211　東京都港区赤坂九丁目7番1号　ミッドタウン・タワー
■ 株主優待に関するお問い合わせ
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株主優待事務局 TEL 0120-99-5610
受付時間 10:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）
■ IRに関するお問い合わせ
IR統括部　TEL 03-5575-3797　https://www.ccbji.co.jp/inquiry/

本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。